



FIA F4 Test

DATE: 2019/02/17~20

Location: Fuji International Speedway

1 日目

1 日目は、初めての富士スピードウェイであり、FIA F4 の車両の理解度もまだまだ足りな
い中、自分の走りを少しずつ少しずつ詰めていこうと思い徐々にアタックすることにしま
した。

1 本目の走行では前回の走行から交換した部品のチェックを行い、しっかりマシンが走る
のか、油温水温などを確認しながらウォームアップを行いました。

そして1 コーナーのブレーキングの練習をメインに1 本目、2 本目は走行しました。

全長1 キロを超えるロングストレートがある富士スピードウェイではストレートを走り切
るとブレーキもタイヤも冷め切ってしまうのでその状態で如何に踏力を最大限
に上げてマシンをコントロールするのか、ブレーキバランスを見極めるのか、とても大事な
ことであるなと思いました。

2 本目と3 本目ではブレーキングがある程度のレベルまで行けましたので、次のステップ
として最終セクターの複合コーナーを練習することにターゲットを絞りました。

しかし、自分が想像していたよりもその最終セクターが難しく、1 つのコーナーを綺麗に抜
けることは出来るのですが、それを全てバランスよくまとめるのが物凄く難しく
まだまだ練習が必要だと痛感しました。

2 日目

2 日目は初めての FIA F4 ウェットコンディション、初めての富士スピードウェイのウェッ
トと初めて尽くしの1 日でした。

まずは色々な方々から雨の富士の走り方や危険箇所などアドバイスを伺いにガレージを巡
りました。そしてその頂いたアドバイスを基に1 本目は黙々とウェットコンディションで
のマシンコントロールとサーキットの理解度を高める為に黙々と走り込みをしました。

ウェットコンディションで気温も低く、コンディションのあまり良くないタイヤでマシン
が暴れるのを抑えるのに苦戦しラップタイムも中々安定しませんでした。なんとか FIA
F4 に3 年間出ているドライバーとほぼ同じタイムを出すことが出来ました。

2 本目と3 本目はまだ水溜りも残っている状態でのドライ用タイヤでのアタック、
姿勢を崩さないように走るのにこれも苦戦しましたが、最終的には初日にあったタイム差
からだいぶ縮めることが出来ました。

まとめ

今回の FIA F4 テスト in 富士スピードウェイでは、開幕までに走ったことのないサーキットが多いのでまずはコースに慣れるという目的でテスト走行を行いました。

しっかりと自分の課題点をデータと比較しながら、そしてコース外からエンジニアに目視して頂きながら、自分の走りや車とのフィーリングを確認しながら、徐々に徐々に無理のない範囲で着実に一步一步詰めて行きました。

最初は中々自分の走りが出来ず、いい状態での走りのイメージも全く湧きませんでした但最终的にはまだまだあやふやな状態ではありますが掴めたような気がしました。

次回はそのあやふやなイメージをよりはっきりとした物にし、自分の走りとして定着させ、いいときのイメージ通りなスムーズな走りや安定したラップタイムを刻めるようにテスト走行を行いたいと思います。

そして今回、刻々と変わるコンディションの中、自分と車との対話をしっかりと行い着々とラップタイムを刻めるテスト走行を行うことが出来たのは今後に大いに繋がると思います。

これからも応援よろしくをお願いします。

本村偉織